

I 第42週の発生動向 (2008/10/13~2008/10/19)

手足口病については、上十三保健所管内において、第37週から**警報**が続いています。

II 第42週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数								
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	数	数	数	数		
(85) インフルエンザ															0													
(74) RSウイルス感染症			10	1.11	2	0.22	2	0.40						14	0.33	-14												
(75) 咽頭結膜熱	1	0.11	1	0.11										2	0.05	1									1	0.13		
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.56	8	0.89	1	0.11	2	0.40	3	0.50				19	0.45	-8	1	1.00	4	0.50								
(77) 感染性胃腸炎	11	1.22	8	0.89	3	0.33	7	1.40	10	1.67	17	4.25	56	1.33	10	2	2.00	9	1.13									
(78) 水痘	9	1.00	4	0.44	2	0.22	4	0.80	5	0.83	3	0.75	27	0.64	-9									9	1.13			
(79) 手足口病	14	1.56	8	0.89	9	1.00	4	0.80	38	6.33	1	0.25	74	1.76	-3	12	12.00	2	0.25									
(80) 伝染性紅斑	1	0.11	1	0.11										2	0.05	0									1	0.13		
(81) 突発性発しん	5	0.56	3	0.33	3	0.33	1	0.20	3	0.50	2	0.50	17	0.40	-7									5	0.63			
(82) 百日咳															-2													
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																											
(83) ヘルパンギーナ	5	0.56	3	0.33	2	0.22	4	0.80	1	0.17				15	0.36	-10									5	0.63		
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																											
(84) 流行性耳下腺炎	7	0.78	4	0.44							2	0.50	13	0.31	3									7	0.88			
(86) 急性出血性結膜炎															0													
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00					1	1.00	2	1.00			5	0.45	3									2	1.00			
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.00	2	2.00					1	1.00	4	0.67	-5													

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、上十三4人

(20年計：397人)

IV 病原体検出情報

弘前保健所管内の平成20年10月9日採取の感染性胃腸炎患者2名の検査材料(便)からサポウイルスが検出されました。

感染症の窓

感染性胃腸炎

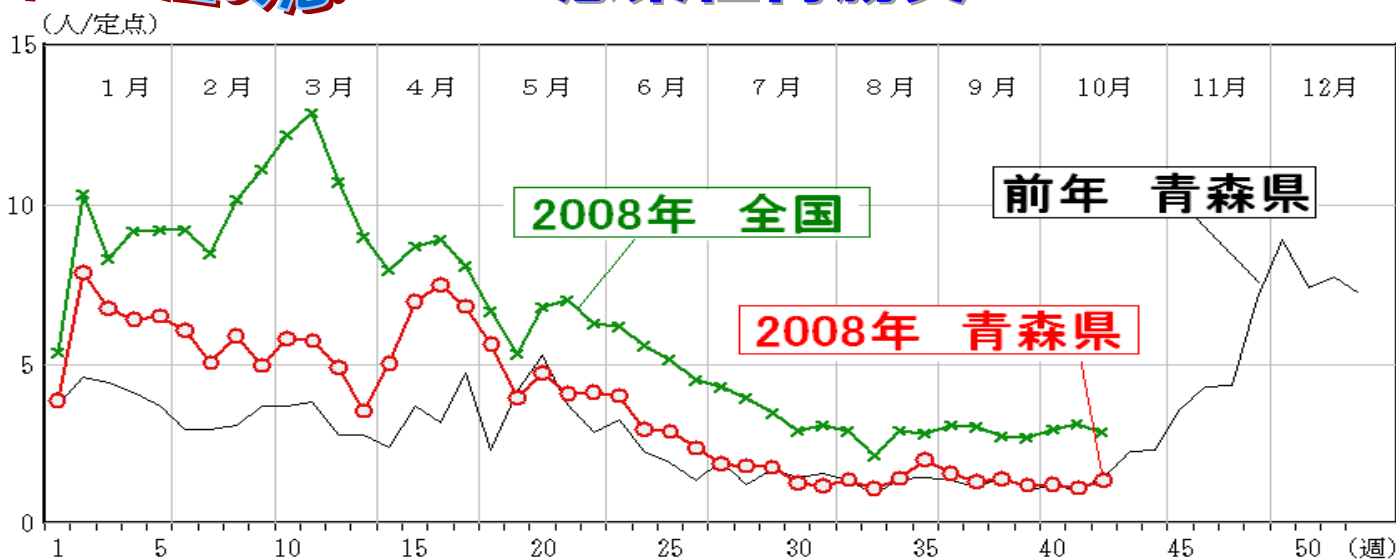


図 全国及び青森県における届出数推移

感染性胃腸炎の原因病原体には、ウイルス性では冬季に発生の多いノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルスなどがあり、その他細菌性や寄生虫が原因の場合もあります。症状は、**発熱、下痢、腹痛、嘔吐**などです。現在、先週比10人の増加ですが、昨年は同時期から増加しました(図)。特に、ノロウイルス感染症は、集団生活や家庭内において二次感染で拡がりやすいことから、患者の看護及び介護の前後に手洗いを励行するなどの注意が必要です。